

朝会時のお話

令和2年6月29日

おはようございます。6年生『最近、とても暑いです。水分をとって体調に気を付けましょう。』『先生方は、みんなのことを思っているいろいろ考えてくださっています。感謝しましょう。』6年生ありがとう。うれしいです。

今日から一斉登校ですね。クラスのお友達がそろいました。仲良く協力し合って素敵なクラスにしていきましょう。素敵なクラスにするのは皆さんです。

さて、先週火曜日に、松山さんに千羽鶴をお渡ししてきました。それは、それは喜んでくださいました。皆で折った鶴は、最終的に小さい鶴も入れると、1323羽になったのです。立派な千羽鶴になりました。松山さんは少しおやせになっていましたが、とてもお元気そうで、いつもの笑顔と笑い声ははじけていました。皆さんによろしく伝えてくださいとのことでした。

次は、計算能力のお話です。世界のスーパーコンピューターの性能を比較する順位付けで日本の『富岳』が世界一に選ばれました。計算速度は毎秒41京5530兆回だそうです。ここまで大きい数字だとよく分かりませんが、とにかくすごいのです。しかも計算速度を競う「スピード」「ビッグデータ」「探求機能」「AIの力」の4部門で世界一になりました。日本が1位を取ったのは2011年の『京』依頼の9年ぶりで、このところはアメリカと中国が強かったそうです。今度の『富岳』は使いやすく省エネタイプで、すでに新型コロナウイルスの飛沫拡散予測で成果を上げているそうです。素晴らしいですね。

『富岳』と言えば江戸時代の浮世絵を描いた葛飾北斎の『富嶽百景』が有名です。そう、『富岳』とは富士山のことで、富士山のように裾野を広く、社会に役立つものにしたいと思っているそうです。実用化されるのは来年あたりだそうですが、気象予測で例えばゲリラ豪雨を区町村などもっと素早く、局地的な予測ができるようになると言われていています。スーパーコンピューター、すごいけど、それを人間が作ったのですから、人間すごい！ということですね。